

おばま 市議会だより

No. 189

遠敷児童センターの
現地視察を実施

令和7年度決算を認定
小浜公園の桜を守るための請願書等を審査
議会報告会を開催します

令和7年度決算を

認定

一般会計

歳入 192億8,092万9,641円

歳出 184億9,233万6,188円

決算審査は、市の予算が目的どおり適正に使われているかを審査し、今後の予算編成や将来の財政計画に反映する重要な役割を担っています。審査に当たっては、金額や数値に間違いがないだけでなく、適法性を確認したほか、効果的に執行されたかといった点を重視しました。

タクシー活用実証事業

385万1166円

説明

今後の小浜市における最適な交通施策を検討するための実証実験で、市内の75歳以上のモニターを対象に、居住地エリアと中心市街地エリアとの行き来におけるタクシー利用にかかる費用の一部について助成を行ったもの。

問

実証実験で得られた利用者の意見と今後の展望は。

答

実証実験では、「利用可能回数を増やしてほしい」「利用できるのが市街地だけでは不便である」といった意見が寄せられた。そのため令和8年度においては、利用可能回数を6回から12回に増やすとともに、市街地だけでなく他の地域への移動も対象にできるよう利用可能エリアを拡大し、利便性の向上を図った。今後も実証実験を継続し、本市にとって最も効果的な公共交通の在り方を検討する。

みんなで潤うまちづくり事業

277万2904円

説明

市民や学生等の柔軟な発想を生かした地域課題の解決につながる取り組みの支援のほか、ボランティア団体の社会貢献活動に必要な消耗品の支援を行ったもの。

問

具体的にどのような取り組みが地域課題の解決につながったのか。

答

高齢者等が一人で食事をとる「孤食」を防ぐために行われた、大学生の提案による取り組みでは、学生とシニア世代が食卓を囲んで交流する場が創出され、世代間のつながりの構築が図られた。

また、かつて行われていた「水まつり」を復活させた取り組みでは、単に祭りを開催するだけでなく、小浜の名水の魅力を発信したほか、地下水保全の重要性を市民に啓発することにより、環境意識の向上につながった。

さらに、小浜西組重要伝統的建造物群保存地区では、古い町並みの家の前に伝統的な行燈（あんどん）を設置する「一門一灯運動」が展開され、夜の景観の魅力を高めることにより、地域の活性化と観光PRにつながった。



行燈が設置された小浜西組

小浜公園エリアデザイン向上事業

1000万円

説明

小浜公園における植栽過密等の課題を整理し、再整備のためのコンセプトや基本方針の検討を行ったもの。

問

委託料1000万円の内容は。

答

本事業では2事業者に委託を行い、1事業者には小浜公園の基本設計の策定に向けた業務として、樹木の状態など、公園の現状および過去の整備状況の調査や、検討委員会を使用する資料の作成の取りまとめを委託した。もう1事業者に対しては、今後の整備に向けたコンセプトの整理のため、市民向けのアンケートの実施およびその取りまとめを委託した。

小学校スクールバス運行事業

7625万2617円

説明

公共交通機関が整備されていない地域の通学手段としてスクールバスを運行したもの。

問

財政負担が大きい本事業の経費削減の観点から、スクールバス運行の在り方をどう考えているか。

答

市のコミュニティバスであるあいあいバスを可能な限り活用しつつ、その活用が困難な区域から通う児童を対象にスクールバスを運行しており、対象児童数に見合った小型車両を手配するなど、経費削減に努めている。また、今後予定されているあいあいバスのダイヤ改正を機に、より一層の活用と経費の削減を図りたいと考えている。さらに、将来的に学校を統合した場合はスクールバスの運行が不可欠となることに伴い、運行経費の増加が見込まれるものの、児童にとって望ましい教育環境の確保を最優先に、効果的で効率的な運行方法を引き続き検討していく。

若狭総合公園温水プール管理費

5989万9909円

説明

若狭総合公園温水プールの運営管理経費

問

温水プールの維持管理費が令和6年度以降大幅に増加している理由と今後の経費の見通しは。

答

主な理由は人件費の高騰によるものであり、令和8年度以降も同水準の経費が必要になる見通しである。運営に当たり、予算に占める市の一般財源の割合が年々増えているため、福井県からの委託金の増額や利用料金の上限を定めている県の条例の改正等について要望したい。

決算認定に伴う管内視察を実施

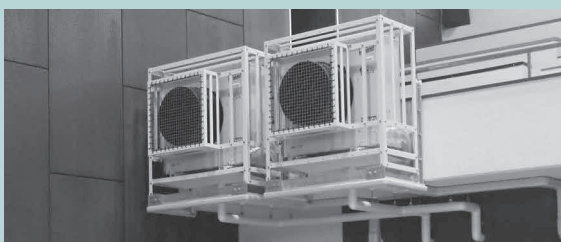
予算決算常任委員会では9月29日、令和7年度の決算審査の一環として、次の4カ所の視察を行い、予算が適正に執行されたことを確認しました。

視察先

- ① 遠敷児童センター
- ② 外壁・屋上改修工事、トイレ洋式化
工場・設備増設支援
進工業株式会社
- ③ 市民体育館空調設備設置
- ④ 大手橋・城内橋・西津橋
上下水道管布設、上下水道管橋梁添架



工場で社員からの説明を受ける議員(②)



市民体育館に設置された空調設備(③)

くまなくチェック 委員会審査



■ 可決した令和8年度9月補正予算

会計名	既決予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	183 億 817 万円	5 億 2,828 万円	188 億 3,646 万円
特別会計	70 億 9,683 万円	△ 105 万円	70 億 9,578 万円
企業会計	54 億 942 万円	△ 1 億 4,529 万円	52 億 6,413 万円
合計	308 億 1,443 万円	3 億 8,194 万円	311 億 9,637 万円

端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

旧中名田保育園の園舎を再整備するための設計費用などが盛り込まれた9月補正予算案を可決しました。
審査の過程であった主な質疑等を紹介します。

9月補正予算の審査

旧中名田保育園の園舎を再整備

中名田コミュニティセンター
複合化整備事業

747万9,000円

旧中名田保育園の園舎をコミュニティセンターと児童館の機能を併せ持つ多世代交流の拠点として再整備するための設計費用を計上するもの。

問

整備後の施設を指定避難所とするに当たり、避難者の居住スペースが十分に確保できるのか。

答

本施設は現在指定避難所である中名田コミュニティセンターと同程度の床面積を有するため、必要な広さが確保できる。



再整備を行う旧中名田保育園園舎

若狭消防組合基盤整備事業

156万1000円

説明

若狭消防組合の新庁舎建設に向けた移転用地の選定調査業務にかかる費用を追加するもの。

問

新庁舎移転用地の選定条件を、現庁舎の敷地面積の3倍以上に当たる8000㎡程度とした理由は。

答

新庁舎の移転条件である8000㎡という敷地面積は、庁舎に1500㎡、訓練場および訓練塔に4500㎡、駐車場等に2000㎡を想定しており、他の自治体の事例等を参考に、消防庁舎としての機能が十分に発揮できる面積とした。

小学校管理諸経費

74万9000円

説明

小学校施設の経年劣化に伴い、児童の安全確保等に必要な施設修繕にかかる経費を追加するもの。

問

本補正による修繕箇所のうち、児童の安全確保に直結する防火扉の故障を把握した時期と、施設や設備が故障した際の各学校から教育委員会への報告体制は。

答

例年6月に全校の修繕要望を取りまとめており、今回も要望を受けて現地調査を行い、故障を確認した。日頃から学校現場と密に連絡を取り合い、迅速な対応に努めているが、命に関わる設備の不具合については速やかに報告するよう、各学校に改めて周知するとともに、今後も学校現場との連携を一層強め、子供たちの安全確保を徹底したい。



請願の審査

小浜公園の桜を守るための請願書

説明

市の「小浜公園エリアデザイン向上整備計画」について、桜を撤去した後にモミジを植栽する計画の見直しと市民の声を反映した整備を求める請願

主な賛成意見

「整備に係る検討委員会の透明性を高める必要がある」「署名を重く受け止めるべきである」

主な反対意見

「計画は最終決定案でないことや専門家による調査を行うこと、倒木の危険性のない桜は残すこと等、市の回答により請願内容はほぼ満たされていることから、採択する必要はない」「桜を大切にしている思いは受け止めるが、全てを伐採する計画ではなく、市から市民の意見を聴くとの回答がなされていることから、市の動きを見守るべきである」「議会が計画内容にまで踏み込み、桜を守ること自体を審査することには疑問である」



審査のため現地視察を行う

日本政府に核兵器禁止条約第1回再検討会議にオブザーバー参加を求める意見書提出に関する請願

説明

核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書を国および関係機関に提出することを求める請願

主な賛成意見

「国際情勢が不安定な昨今だからこそ、日本が主体的な外交を行うために会議に参加すべきである」「核兵器国と非核兵器国の橋渡し役を担う日本が、会議に参加することには意義がある」

主な反対意見

「日米安全保障条約との関係を考慮すると、オブザーバー参加であっても慎重に判断すべきである」

乾式貯蔵施設に関する住民説明会の開催を求める請願書

説明

福井県や関西電力等の関係機関を招いた、乾式貯蔵施設等に関する市民向け説明会の開催を市に求める請願

審査内容

本件は、趣旨の要請書が市に提出されており、その回答内容を確認した上で審査を行うことが適切であるため、継続審査とすることに決定した。

意見書を提出

「日本政府に核兵器禁止条約第1回再検討会議にオブザーバー参加を求める意見書提出に関する請願」の採択に伴い、国および政府関係機関に対して、意見書を提出しました。意見書の概要は次のとおりです。

ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の悪化など、国際社会が緊迫する中、核兵器の開発・保有・使用を禁じる「核兵器禁止条約」の意義は一層高まっている。

同条約は2021年1月に発効し、2026年11月には初めての再検討会議が開催される予定である。唯一の戦争被爆国である日本には、被爆の実相と核兵器の非人道性を国際社会に伝え、核兵器廃絶に向けた議論を前進させる責務がある。

そのため、国会および政府関係機関に対し、核兵器禁止条約第1回再検討会議にオブザーバーとして参加し、核兵器廃絶に向けた国際的な議論に主体的に関与するよう求める。

ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後2週間程度で視聴できます）など、さまざまな情報を発信しています。



市政を問う！一般質問

令和8年第3回（9月）小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
上野 一	1.道路等整備事業について 2.ツキノワグマ・ニホンザル対策について	下中 雅之	1.御食国若狭おばまブランド戦略骨子について 2.小中学校の体育館等の空調整備について
世戸 玉枝	1.自衛隊について 2.原発周辺自治体の安全協定について 3.熊本地震から学ぶこと 4.高齢者住まいの暑さ対策事業について	小澤 長純	1.御食国若狭おばまブランド戦略について
武長 由里子	1.小浜美郷小学校の統合検証結果について 2.防災井戸について	東野 浩和	1.生物多様性について
池田 英之	1.市長就任2年を迎えて 2.公用車の適正管理について	浦谷 梨華子	1.交通安全対策の充実について 2.内外海保育園の今後と保護者との合意形成
		岡 泰宏	1.小浜公園の整備について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

道路等整備事業 / 緊急銃猟マニュアル策定

- 問** 道路の移動等円滑化（バリアフリー化）について伺う。
- 答** 新たに歩道整備を行う際はガイドラインに基づき連続性と平坦性を確保するため、車道と歩道の高さの差を抑えたセミフラット形式を原則とする。視覚障がい者への配慮として横断歩道との接続部に点字ブロックを敷設するなど安全で円滑な歩行空間の整備に努める。
- 問** 道路に関する区長要望への対応について伺う。
- 答** 要望の内容は、道路改良・舗装補修・交通安全施設の整備など多岐にわたる。安全確保や緊急性を最優先に、比較的簡易な修繕については速やかに対応し、予算や設計等を必要とする工事は、現地の状況や事業効果を踏まえ優先順位を考慮しながら計画的に対応している。今年度の要望は、約200箇所あり、約7割について対応できる見込みである。
- 問** 緊急銃猟マニュアル策定状況について伺う。
- 答** 令和8年1月に「小浜市緊急銃猟実施対応マニュアル」を策定した。庁内各部署や県・警察等の関係機関との連絡体制、役割分担を明確にし、緊急銃猟を実施する際には、現場周辺の市民等の安全を十分に確保できるよう必要な対応について定めている。また、市長から権限委任を受けた副市長が対策本部長となり、危険性や周辺の状況などを総合的に勘案し、実施の判断をする。



うえの はじめ
上野 一



自衛隊・原発・体育館・エアコン補助

- 問** 自衛隊は自衛官等募集のため、各自治体に若者の名簿提供を求めている。本来、本人に聞いて提供すべきだ。名簿提供を希望しない方への周知はどうしているか。
- 答** 市のホームページで周知している。今後は、広報おばまやケーブルテレビなどを通じて周知に努める。
- 問** 石田知事は、嶺南地域への自衛隊誘致を防衛省に要望した。市民は騒音と事故を心配している。また、軍事施設と原発が標的になっているのは危険ではないか。
- 答** 嶺南地域には多くの原子力発電所が立地しており、有事の際に迅速に対応できるよう、自衛隊の配備を要望している。
- 問** 石田知事は、原発立地町の了承を受け、使用済み核燃料の乾式貯蔵施設の建設を認めた。隣接する小浜市など存在しないような扱いだ。立地並み安全協定を結べと交渉すべき。
- 答** 福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会を通じて要望しており、一歩ずつ成果を上げている。
- 問** 小中学校の体育館における空調設備の設置状況と今後の予定を伺う。
- 答** 中学校は実施設計を進めている。小学校は、早期整備に向け、関係機関と協議する。
- 問** 高齢者世帯等へのエアコンの設置補助についての考えを伺う。
- 答** 県内で福井市と大野市が補助を行っている。本市においても、その事例を参考に検討する。



せと たまえ
世戸 玉枝



美郷小の統合検証／防災井戸の必要性



たけなが ゆりこ
武長 由里子



問 4校試案の内容は。

答 平成16年度に策定した試案で、当時の児童数の推移と将来予測を踏まえ、小学校を東西南北の四つに統合することを目指したものである。

問 統合で児童一人一人の状況を把握しにくくなったのでは。その支援策は。

答 教職員や支援員、スクールカウンセラーが連携し、きめ細かな支援体制を整えてきた。令和8年9月からは校内サポートルーム支援員を配置し、教室に入りにくい児童への個別支援も開始した。保護者との連携も不可欠で、連絡帳・面談・参観などを通じて家庭の様子を共有し、信頼関係の構築に努めている。

問 スクールバス運行経費の削減策は。

答 現在、スクールバスの運行業務を民間業者に委託しているが、市が車両を所有し運行管理のみを委託する方法や、車両の所有に加え、運転手も市が直接雇用する手法など、見直しを検討する。また、地域公共交通であるあいあいバスの運行ダイヤと登下校時刻の調整を図るなど、公共交通の活用も検討する。

問 国は、災害時の防災井戸の重要性を認識しているが、本市において防災井戸制度の導入予定はあるか。

答 本市としても、先進的な自治体の取り組みについて情報収集を行い、制度導入の可能性について、しっかりと調査・研究していく。

公用車の一元管理体制で適正管理を！



いけだ ひでゆき
池田 英之



問 市長就任2年を迎えて政策の成果は。

答 「稼ぐ、活かす、育む」の循環サイクルの確立に全力を注いできた。「対話」を重ねてきたことで市政参画の意識は着実に芽生えており、「みんなが潤う新しい小浜」の実現に向け確実に前進している。

問 今後市民との対話をどのように行っていくか。

答 若い世代との対話の機会を広げ、定住やUターンにつなげていく。市民の皆さまがまちの課題を「自分事」としてとらえ、行動し始めており、対話の次のステップにも進んでいる。

問 今後の市政運営は。

答 市民一人一人が希望を持てる「みんなが潤う新しい小浜」の実現に向け、失敗や変化を恐れず市政運営にまい進する。

問 公用車の現状は。

答 乗用車は66台あり、主管課が管理使用する専用車54台と営繕管財課で管理する共用車12台がある。維持管理経費は令和7年度で1670万円となっている。

問 車両ごとの利用状況は。

答 年間2万キロを超えるものもあるが、500キロ程度のものが2台ある。

問 台数削減や維持管理経費の圧縮を実現するため、車両の一元管理体制の導入について。

答 本市の車両管理は共用車を除き、各課管理としているが、各車両の予算配分の提示等、一部一元的な管理を行っている。今後も効率的な管理に努める。

健康管理や適切な学習環境の確保を！



したなか まさゆき
下中 雅之



問 今議会の所信表明において、ふるさと納税やブランド戦略に基づく重点施策について述べられていたが、福祉や環境などの取り組みが見えなかった。行政運営として「稼ぐ」「分野」への偏りがあると思うが、現市政の目指すテーマについて伺う。

答 市政のテーマは、「みんなが潤う新しい小浜」の実現である。「稼ぐ分野への偏り」について、決して福祉や環境などの取り組みを軽視しているわけではない。人口減少が進む中で、本市の豊かな環境や、市民の福祉・教育を守り抜くためには、行財政の改革を意識しながら進めていくことが不可欠である。

問 子どもたちの健康管理や適切な学習環境を確保するためには、空調設備は必要不可欠である。現状、普通教室への空調設備が進んでいる一方で、特別教室や体育館においては、自治体間で整備状況に格差が生じている。本市における小中学校の空調の整備状況と今後の方針を伺う。

答 本市の小中学校の普通教室については、全ての教室に空調が整備されている。一方、特別教室については、学校によってばらつきがある。また、体育館の空調設備については、小中学校ともに整備には至っていないが、小浜中学校および小浜第二中学校において実施設計を進めており、令和9年度中の整備完了を目指して取り組んでいる。今後、小学校の体育館と特別教室についても、関係部署と協議を重ね、早期の整備に向けて検討を進めたい。

ブランド戦略の全体像は？



おざわ ながすみ
小澤 長純



問 四半世紀前に制定された、全国初の小浜市にとって大切な「食のまちづくり条例」は、現在、生かされているのか。

答 これまでの取り組みに対し、食育の分野では、全国のトップランナーとして高い評価を得ているが、産業振興や健康・福祉の分野では十分でないとの指摘を受けている。今年度改定予定の「食のまちづくり計画」で実効性のあるものにしていきたい。

問 ブランド戦略は、第6次小浜市総合計画ではどのように位置付けされているのか。

答 本市の目指す将来像をより効果的に実現していくため、総合計画の「基本目標」の取り組みを補完するものである。

問 市長が描くブランド戦略の全体像は。

答 ブランド戦略は、本市の強みを徹底的に「活かす」ための取り組みである。本市の価値に共感していただける方を引きつけ、その効果を観光や産業振興にとどめることなく、最終的には「このまちで暮らし、子育てをしたい」と、移住・定住先としても「選ばれるまち」にしていくことが、戦略の全体像である。まずは、五つのプロジェクトを着実に進めていく。

問 市長が掲げる5つの重点プロジェクトの中に、学校給食費の保護者負担の軽減に取り組みとあるが、中学校の完全無償化について前進はあるのか。

答 完全無償化には、現在の公費負担に加え、年間約4600万円が必要となる。今後国庫の動向を注視しながら検討していきたい。

生物多様性は小浜未来づくりの根幹



ひがし の ひろ かず
東野 浩和



問 生物多様性の保全に対する取り組みの重要性について、本市における認識は。

答 自然環境の保全や再興に結び付き、私たちの暮らしを支える重要なものであるとともに、御食国ブランド戦略や食のまちづくりの推進につながる重要な取り組みと認識している。

問 計画策定状況は。

答 「小浜市環境基本計画」を策定し、その中で生物多様性の保全を推進している。

問 取り組み状況は。

答 コウノトリを通じた取り組みを行っており、生育環境の創出として、水田ビオトープや退避溝の整備を進めるとともに、有機栽培米などを生産する環境保全型農業に取り組んでいる。また、次世代を担う子どもたちに食農教育や環境学習などを行い、自然環境保全への意識醸成に努めている。

問 取り組みにおける課題は。

答 水田ビオトープや退避溝の整備においては、整備後の生態系の維持に向けた維持管理を継続的かつ適正に実施することが挙げられるが、行政だけで担うことはできないため、持続可能な管理のための協働体制を構築していく必要がある。

問 今後の市民等との連携・協働体制は。

答 市民・事業者・行政などが、それぞれの立場で知恵と力を出し合い、一体となって行動することが重要である。今後もボランティア団体や地域団体と一層の連携・協働に努めていく。

◆ 議会活動日誌 ◆

◆ 7月

1 (水) 北陸新幹線早期全線開業特別委員会中央要望(東京都内)

2 (木) 広報委員会、社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式、小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議

3 (金) 若狭消防組合協議会臨時会

5 (日) 網女頭彰祭、福井県ろうあ者福祉大会

10 (金) 全員協議会、政策討論会、広報委員会

12 (日) 福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会総会および現地視察(福井県福岡市、佐賀県玄海町)〜13日

15 (水) 議会運営委員会、議会報告会連絡会

16 (木) 小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会総会

17 (金) 遺族会80周年記念誌報告会

21 (火) 小浜市・若狭町総合振興協議会(若狭町)

22 (水) 北陸新幹線早期全線開業特別委員会国会議員訪問(東京都内)

23 (木) 北川改修促進期成同盟会総会、国道162号大手橋・西津橋改修促進期成同盟会総会

27 (月) 自衛隊艦艇入港歓迎式

28 (火) 産業教育常任委員会

29 (水) 行政視察受け入れ(埼玉県春日部市)

30 (木) 議会運営委員会、福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)

31 (金) 嶺南市町議定会定例会

◆ 8月

3 (月) 総務民生常任委員会

4 (火) 市長への要望書提出、管まつり開会式、京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会および鯖街道まちづくり連携協議会合同による福井県要望(福井市)

5 (水) 北陸新幹線建設促進大会(東京都内)、北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会中央要望(東京都内)

7 (金) 福井県市議会議長会定期総会(福井市)

10 (月) 全員協議会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会

14 (金) 万灯祭

高齢者の交通安全 / より丁寧な対話を



浦谷 梨華子



問 シニアカー利用者の交通安全についてどのような課題がある認識しているか。

答 今後、高齢化が進むことに伴い、シニアカーなどの



電動車いす利用者が増加することが予想される中、事故の防止に向けた対策が重要な課題であると認識している。道路交通法において、シニアカーの利用者は歩行者として扱われるが、このルールが認識されていないことが事故発生の原因になる場合があるため、シニアカーの利用者および市民の皆さまに対し、ルールを広く周知することで安全の確保を図ることが重要であると考えている。

問 本年7月に内外海保育園で開催された意見交換会で出された保護者の意見を、今後どのように取り扱い、検討していくのか。

答 先の意見交換会では、閉園の可能性に関して多くのご不安のお声とともに、丁寧な説明を求めるご意見を頂いたところである。頂いた貴重なお声は、今後の在り方を検討するに当たって、極めて重要であると受け止めている。

また、議員が保護者に対して実施されたアンケート調査の結果についても、大変貴重なものとして認識している。引き続き入園見込み数などの正確な情報を提供するとともに、子どもや保護者の皆さまに対して、より一層きめ細かな配慮に努めてまいりたい。

小浜公園の整備について！！



岡 泰宏



問 小浜公園エリアデザイン向上整備計画が事業化された経緯を問う。

答 令和5年から6年度にかけて庁内の若手職員で検討された「観光おもてなし計画」において、北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限生かし、誘客や交流人口の増加を図るため、小浜公園の再整備が提案された。

問 令和7年度に開催された検討委員会での整備コンセプトや整備方針について問う。

答 整備コンセプトは「小浜の暮らしに寄り添う、わたしたちのニワ」とし、整備方針は「メインエントランスを小浜西組との連続性に配慮すること」「青井川の水辺に親しめる階段護岸の整備」「ベンチの新設、照明のLED化、園路の舗装」「桜を主体とした計画を維持しつつ、老朽化により倒木の危険性のある桜を伐採し、モミジに植え替え四季折々の景観を創出する」などが提案された。

問 海望山を含めた小浜公園エリア全体の活用について問う。

答 海望山は市の所有ではないため、明言は控える。小浜公園については、安全で明るく開放的で滞在しやすい公園に再生することを目指す。

問 樹木医等の専門家による調査結果の市民への周知について問う。

答 桜の生育状況を含めた診断結果について、11月中旬には市民の皆さまにお知らせしたい。

19 (水)	議会運営委員会、小浜市・おい町総合振興協議会、県道岡田深谷線改良促進期成同盟会総会および深谷・相生間道路建設促進同盟会総会
20 (木)	全員協議会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
21 (金)	京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会および鯖街道まちづくり連携協議会合同による滋賀県要望(滋賀県大津市)
22 (土)	福井県戦没者追悼式(越前市)
24 (月)	公立小浜病院組合議会
26 (水)	令和8年第3回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報委員会
27 (木)	公立小浜病院組合議会常任委員会
31 (月)	総務民生常任委員会・分科会
◆ 9 月	
1 (火)	産業教育常任委員会・分科会
3 (木)	各派代表者会議
10 (木)	令和8年第3回小浜市議会定例会
11 (金)	令和8年第3回小浜市議会定例会
14 (月)	予算決算常任委員会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
15 (火)	令和8年8月に発生した大雨災害の見舞い(福井市、大野市、勝山市、あわら市、坂井市)
16 (水)	議会運営委員会、全員協議会、令和8年第3回小浜市議会定例会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会
17 (木)	産業教育分科会(決算審査)、御食国若狭おばま杯親善ソフトボール大会 記念碑設置式
18 (金)	産業教育分科会(決算審査)
24 (木)	総務民生分科会(決算審査)
25 (金)	総務民生常任委員会・分科会(決算審査)
28 (月)	全員協議会、予算決算常任委員会現地視察
29 (火)	予算決算常任委員会管内視察
30 (水)	小浜病院組合議会
◆ 10 月	
1 (木)	予算決算常任委員会、広報委員会
2 (金)	若狭消防組合議会
3 (土)	小浜市戦没者追悼式
6 (火)	議会運営委員会、全員協議会、令和8年第3回小浜市議会定例会

令和8年第3回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件 名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について
	債権の放棄について
予算	令和8年度小浜市一般会計補正予算(第2号)
	令和8年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	令和8年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	令和8年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	令和8年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)
	令和8年度小浜市下水道事業会計補正予算(第1号)
条例	小浜市重度障がい者(児)医療費の助成に関する条例等の一部改正について
	小浜市個人番号カードの利用に関する条例の制定について

項目	件 名
条例	小浜市印鑑条例の一部改正について
	小浜市水道料金等制度審議会設置条例の一部改正について
認定	令和7年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市水道事業会計決算の認定について
	令和7年度小浜市下水道事業会計決算の認定について
人事	公平委員会委員の任命について(津田さとみさん)
	公平委員会委員の任命について(浦谷和明さん)
決議	「小浜公園エリアデザイン向上整備計画」に関する決議

賛否が分かれた議案等

多＝賛成多数(採決・採択) 否＝賛成少数(否決・不採択)
○＝賛成 ×＝反対

項目	件 名	採決結果	浦谷梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	武長由里子	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対
請願	小浜公園の桜を守るための請願書	否	×	×	○	×	×	○	×	○		×	×	○	×	×	×	×	×	4	12
	日本政府に核兵器禁止条約第1回再検討会議にオブザーバー参加を求める意見書提出に関する請願	多	○	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	○	×	○	○	○	10	6
意見書	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	多	○	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	○	×	○	○	○	10	6

※竹本雅之議員は議長のため、採決には加わっていません。

編集後記

「おばま市議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。今議会では、「対話」の大切さについて改めて考える機会がありました。お互いの認識や思いの違いを確かめながら、納得できる方向を共に探していく。

これからの議会報告会も、市民の皆さま一人一人と向き合い、声の奥にある思いまで大切にできる場に。私自身もよりよい対話ができるよう学び続けてまいります。

広報委員会 浦谷 梨華子

■本紙記事の誤りについて

おばま市議会だより188号(令和8年7月24日発行)の記載に、次のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

【訂正内容】

4ページ中段「小浜市文化会館耐震改修工事請負契約の締結について」の説明文後の「答」の表記が、正しくは「問」

※ホームページで公開しているデータは訂正済みです。

「小浜公園エリアデザイン向上整備計画」に関する決議を可決

令和5年度から6年度にかけて検討された観光おもてなし計画において、小浜公園の再整備が提案されたことを受けて市が事業化した「小浜公園エリアデザイン向上整備計画」について、以下の決議をしました。

決議とは、市に対する要請・勧告など、議会の意思を対外的に表明することが必要である時になされる議決のことです。



「小浜公園エリアデザイン向上整備計画」に関する決議

小浜公園の再整備を目的とした「小浜公園エリアデザイン向上整備計画」においては、市民の間に様々な意見があるが、意見の相違が市民相互の対立を深めることのないよう、可能な限り幅広い理解が得られるよう慎重に合意形成を図ることが必要である。

よって、市においては、当該公園の整備を検討するに当たり、下記の事項に十分留意されたい。

記

- ① 検討委員会の透明かつ公正な運営を十分に確保するため、当該計画に対する賛否を含め、多様な意見が適切に反映される委員構成とすること。
- ② 当該公園の整備に幅広い市民の意見を反映させるため、市民向け説明会の開催にとどまらず、パブリックコメントその他の多様な手法の活用を検討すること。その際には、特定の地域や立場の意見に偏ることなく、それぞれの意見、提案等を公平かつ丁寧に聴取すること。
- ③ 検討および判断の基礎となる客観的なデータ、専門的知見等を市民に分かりやすく示し、方針の決定に至る過程およびその根拠について説明責任を果たすこと。

議会を傍聴しませんか？ ～12月定例会の予定～

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合の良い時間に、ぜひお越しください。

11月30日(月) 本会議・予算決算常任委員会

12月15日(火) 本会議(一般質問)

12月 3日(木) 産業教育常任委員会・分科会調査

16日(水) 予算決算常任委員会

4日(金) 総務民生常任委員会・分科会調査

21日(月) 本会議

14日(月) 本会議(一般質問)

◎開始時刻はいずれの会議も午前10時を予定しています。※状況に応じて、変更が生じる場合があります。

開催します 議会報告会

あなたの声をお聴かせください



市議会では、「市民と共に歩む開かれた議会」を目指し、議会の活動を報告するとともに、市民の皆さまのご意見をお聴きし、今後の議会活動に反映します。

お誘い合わせの上、ご都合のつく会場にお気軽にお越しください。

(※雲浜・松永・国富・今富の4地区では10月22日(木)に開催しました。)

日時

11月17日(火)
19時30分～21時

会場

宮川コミュニティセンター (1班)
中名田コミュニティセンター(2班)
内外海コミュニティセンター(3班)
加斗コミュニティセンター (4班)

日時

11月27日(金)
19時30分～21時

会場

□名田コミュニティセンター(1班)
遠敷コミュニティセンター (2班)
西津コミュニティセンター (3班)
小浜コミュニティセンター (4班)

班構成

1 班

佐野 達也
世戸 玉枝
東野 浩和
竹本 雅之
小澤 長純

2 班

浦谷 梨華子
岡 泰宏
藤田 靖人
池尾 正彦

3 班

上野 一
川代 雅和
牧岡 輝雄
下中 雅之

4 班

武長 由里子
池田 英之
今井 伸治
富永 芳夫

内容

- ① 議会の仕組みについて
- ② 北陸新幹線小浜・京都ルートについて
- ③ 意見交換 (市民の皆さまからご意見やご質問をお受けします)